（様式第３号）

企業・団体名（　　興和ゴム工業株式会社　　）

※記載例を参照の上、ご記入ください。

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）【R5.11.30変更】

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本（必須）			・雇用、教育、昇進、登用、福利厚生、採用について経営計画書・就業規則に記載し経営トップが関与している。（社内・外部研修の開催、定期相談を実施）					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本（必須）			・ハラスメントを禁止する旨を経営計画書・就業規則に記載し明確にしている。相談窓口を設置している。 ・外部研修会に参加。 ・職場いきいきアドバンスカンパニーを認証。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本（必須）			労働基準の遵守を経営層から現場まで組織全体で徹底し、「心身の健康が質の高いものづくりを支える」という考えのもと、過度な長時間労働を排除する環境整備に注力しています。具体的には、デジタルの活用による業務効率化と厳格な時間管理・安全管理を実施。さらに、個々のライフステージや多様な働き方に寄り添った柔軟な勤務体制を導入することで、持続可能な職場環境と従業員のエンゲージメント向上を両立させています。								8.5 8.8									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本（必須）			・外国人技能実習制度技能実習生の外国人労働者に対して適切な優遇、労働環境を整えている。 ・毎日、技能実習生の外国人労働者に対して面談を実施し意見交換を行っている。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本（必須）			・社内で安全衛生委員会の組織を設置。労働環境の整備の取り組みを行っている。 ・社内パトロール実施・改善や産業医の面談等の実施。			3					8									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本（必須）			・メンタルヘルスについて禁止する旨を経営計画書に記載し明確にしている。 ・産業医と連携体制を整備している。 ・年1回ストレスチェックを実施。			3														
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本（必須）			・多様な人材が活躍できる様に経営計画書に方針を定め、実施している。 ・多様な人材が活躍できる様に労働環境の整備を行っている。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本（必須）			・経営計画書の「年度計画」に基づき、社内教育として年43回勉強会を開催している。 ・職務、役割に応じて外部研修に参加している。 ・資格取得費用はすべて会社が支給する。				4	5.5			8	9								
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本（必須）			・派遣・パートタイム・有機雇用労働法の内容を理解し同一労働同一賃金等の原則に沿った体制の整備・対応をおこなう。 ・厚生労働省主催のセミナーに参加。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ（任意）			・全国健康保険協会長野支部協会けんぽの「健康づくりチャレンジ宣言」を実施。 ・一般社団法人サキベジ協議会に所属し、「サキベジ健康企業」の宣言を行っている。			3					8									
11		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本（必須）			・廃棄物の分別の徹底、安全衛生委員会による分別チェック ・ゴム廃棄重量を把握し、月次報告会にて毎月課長職以上で確認している。問題が発生した場合は原因調査、改善活動を行っている。 ・目標設定：2030年1,070t											11.6	12		14.1			
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本（必須）			・工場ごとのエネルギー（電気、ガス）使用量を把握し、月次報告会にて毎月課長職以上で確認している。							7.3						13				

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
13	環境	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本 （必須）			脱炭素社会の実現に向け、自社のエネルギー消費量および温室効果ガス排出量の可視化に努めています。具体的な削減施策として、全社的な照明設備のLED化による電力消費の抑制を完了させるとともに、主要設備の熱源を重油から環境負荷の低いガス燃料へ転換（燃料転換）することで、直接的なCO2排出量の低減を推進しています。今後も、継続的なモニタリングを通じてエネルギー効率の最大化を図り、サプライチェーン全体のグリーン化に貢献します。 Co2排出量の50%削減（2019年2,141t⇒2030年1,070t）							7.2 7.3					12.4	13.3				
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本 （必須）			・工場内で使用する化学物質のSDS管理をしている。 ・有機溶剤種類の変更（より害の少ない物へ）			3.9			6.3					11.6	12.4					
15	環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本 （必須）			事業活動が生態系へ与える影響を最小限に抑えるため、以下の「水資源の保護」と「化学物質の厳格な管理」を軸とした活動を推進しています。 水環境の保全と汚染防止：工場内に分離槽（三槽）を設置し、排水管理を徹底することで、地域河川や海洋生態系への影響を未然に防止しています。 有害物質の排除と代替促進：内分泌攪乱物質（環境ホルモン）の疑いのある物質から、より安全な代替物質への転換を積極的に進め、自然界への有害リスク低減に取り組んでいます。 資源の適正管理による環境破壊防止：原材料、燃料、廃棄物に至るまで、ライフサイクル全体での適正な管理体制を構築し、不適切な流出による環境破壊や生物多様性の損失を招かないよう配慮しています。						6.6								15			
16		【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本 （必須）			・工場の資源利用の削減、再利用を推進している。 ・各種機械冷却水の循環再利用を行っている。												13		14.1			
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			・工場ごとの水（水道水、地下水）使用量を把握し、月次報告会にて毎月課長職以上で確認している。問題が発生した場合は原因調査、改善活動を行っている。						6.4 6.6											
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ （任意）			持続可能なものづくり（SDGsへの貢献）興和ゴム工業は、環境マネジメントの国際的な枠組みを指針とし、事業活動を通じた環境負荷低減に取り組んでいます。 認証規格と同等の厳格な基準で、端材の再利用促進や電力使用量の削減を管理しており、これらはSDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けた重要なステップであると考えています。今後も認証取得を一つの目標としつつ、形式に捉われない「実質的な環境保全活動」を継続してまいります			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ （任意）			環境に関する情報をHPに記載している。												12.6					
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			・生産設備の冷却に地下水を利用している。 ・水道水を冷却水に使用する場合は循環式にしている。							7.2						13				
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			・産学官連携によりセルロースナノファイバーの実用化に取り組んでいる。												12.2	13	14	15		
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本 （必須）			・経営計画書の「決算する方針」・「ビジネスパートナーに関する方針」で行動規範を定めて社内で浸透を図っている。																16 16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本 （必須）			・経営計画書の「販売に関する方針」「お客様に関する方針」で行動規範を定めて社内で浸透を図っている。																16	

項目番号		チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組（県などの取得認証があれば、併せて記載）（【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
24	公正な事業慣行	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本（必須）			・特許の取得・管理をしている。 ・製品開発における特許侵害調査を実施する。								8.2 8.3	9								
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本（必須）			・経営計画書、就業規則内で「秘密保持」を明記して体制を整備している。																16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱って**いないこと**を確認している	チャレンジ（任意）			・自社製品の原材料サプライチェーンを把握している。 ・MSDSの管理確認を行っている。																16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ（任意）			・経営計画書の「ビジネスパートナーに関する方針」で年1回計画的に全外注監査を行っている。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28		【パートナーシップ構築宣言】（R5.9.5～追加） ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト：https://www.biz-partnership.jp/	基本（必須）			「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している			3					8	9	10							17
29	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本（必須）			製品に使用している原材料の、含有化学物質調査により、安全な製品を提供。			3.9									12.4					
30		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本（必須）			ISO9001を取得、JIS認定工場、日本水道協会第1種検査工場を取得し、良い品質、良いサービスを提供、また、持続する仕組みを構築している。									9								
31		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ（任意）			製品設計時に含有化学物質調査、配合の最適化により、環境に配慮した製品設計をしている。						6						12	13	14	15		
32		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ（任意）			人々のライフライン上水道、下水道等の継手部ゴムパッキンを開発、生産、供給している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
33	社会貢献・地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本（必須）			・地域企業、教育現場との対話・工場見学を実施し、対話に基づき、事業の地域への影響を把握を行い改善に努めている				4					9		11	12		14	15		17
34		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ（任意）			・地域周辺の托鉢を計画的に活動している ・地域の次世代を担う人材（学生）への交流・育成機会（デュアルシステム）を提供している ・産学官の開発で寄付活動行っている。				4							11			14	15		17
35		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ（任意）			・地域の特産品を優先的にお客様の贈答品として利用している								8	9		11	12	13				
36		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本（必須）			・経営計画書に、経営理念を明文化している。 ・経営者が経営計画書を使い、期首に全社員へ経営理念、経営目標を説明し、毎朝全社員で、経営計画書の読み合わせを行い共有している。								8	9								17
37		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本（必須）			・経営計画書で法令順守の重要性を全社員で共有している。																16	
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本（必須）			・責任部署、担当委員会を設置している。																16	

39	組織体制	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本（必須）			・適宜ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を月次報告・実行計画・各点検等で把握し、具体的な内容に努めている。															16	17
40		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ（任意）			・経営計画書を活用し、月次報告・実行計画・各点検でリスクを洗い出し、適切な対策を講じている。															16	
41		【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ（任意）			・経営計画書を活用し、月次報告・実行計画、委員会活動、各点検等で、CSR活動を整備している。															16	
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ（任意）											9		11		13 13.1			16	
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ（任意）			・社員をグループ分けして、それぞれグループに適した業務を行いながら育成を行い、事業承継に努めている。							8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）

・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、ＮＡＧＡＮＯものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

○ この「要件２」は、ISO26000（※１）、RBA（Responsible Business Alliance）（※２）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、　間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載
○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
※１…組織の社会的責任に関する国際規格　　※２…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定